



校報 西栗栖

令和6年度9月 2日号

学校ホームページ URL
<http://nishikurususyo.tatsuno.ed.jp/>

2学期のはじまりも暑い日が続きそうです

今年の夏は、観測史上一番の暑い夏と言われた去年以上にさらに暑い夏となりました。日本の多くの地域は、もう亜熱帯地域と言ってもいいくらいの暑さに思えてなりません。自然の力に逆らうことはできません。しかし、地球温暖化を食い止めるために自分にできる（しなければいけない）ことは何か、日々の生活や学習のなかで、子どもたちといっしょに考えていきたいと思えます。高学年は、すでにSDGsについて学んだこともいくつかあります。ぜひ、思い出して実行してほしいものです。

8/24（土）恒例のPTA夏祭り開催

持続可能な組織のありようがあらゆる分野で求められています。本校PTAにおいても、会員数の減少傾向が続いています。本年度の夏祭りを開催されるにあたり、お世話いただく役員さんの負担軽減のため、夏休み作品展のコンクール形式をやめ、純粹に作品の展示のみとしました。また、飲食の提供を見直し、熱中症対策のために飲料のみを提供することとしました。さらに、花火大会は継続しつつ、なぞ解き、宝探し、ゲームコーナーというふうの内容面を全面的にリニューアルしての夏祭りを開催していただきました。



今年も子どもたちにとって、「ふるさと」の思い出をつづるすてきなひと時となりました。

人権まなびい

「五輪」と「平和」

今年の夏は、パリオリンピック、パラリンピックに心が熱くなる毎日でもありました。

しかし、五輪の基本理念である「平和」「友愛」がかすむ現実を感じざるをえませんでした。国連総会で決議された「五輪休戦」は実現せず、状況はむしろ悪化しました。IOCは、ロシアやベラルーシの選手には、侵攻を積極的に支持していないなどの条件を満たす場合に、個人での参加を容認しました。しかし、国際人権団体からは、半数余りが「中立の基準を満たしていない」と非難する声が上がりました。また、デジタル化の進展で SNS による中傷が深刻化しました。メダルを逃した選手たちに心無い投稿が繰り返されました。結果はどうあれ、五輪の舞台に向け努力を重ねてきた選手たちには敬意を払うべきだと思います。人格を否定するような投稿は決して許されるものではありません。

国境や言葉の壁を越え、共通のルールでつながるのがスポーツのすばらしさです。互いを認め合うフェアプレーの精神は、五輪が掲げる理念の柱です。一方で、世界は緊迫の度を増しています。「戦争」は「生きる」権利を奪い取る最大の人権侵害です。「平和」のうえにこそ、「人権」が尊重される世の中が成立することを改めて強く感じます。だからこそ、五輪の理想を求め続け、国際社会に発信していく必要があります。

【9月の主な行事予定】

- 2月 始業式
- 4水 給食開始 自然学校・修学旅行前健診
- 5木 わくわくお話宅急便 身体計測
- 6金 5年自然学校（～10火） 移動図書館
4年水生生物調査
- 10火 学級費振替日
- 12木 スクールカウンセラー来校
- 13金 6年租税教室 PTA委員会
- 17火 安全点検
- 26木 参観日 4年認知症サポーター養成講座
- 27金 学級費振替日（予備）